

南陽市自分ごと化会議2025

「学んで得するゴミ問題」



2026年2月21日

「南陽市自分ごと化会議」委員一同

< 目 次 >

1 「南陽市自分ごと化会議」の概要.....	1
2 「令和7年度南陽市自分ごと化会議」からの提案.....	3
3 付録：アンケート結果.....	10
南陽市自分ごと化会議第1回参加者アンケート結果.....	10
南陽市自分ごと化会議第2回参加者アンケート結果.....	13
南陽市自分ごと化会議第3回参加者アンケート結果.....	17
南陽市自分ごと化会議アンケート結果まとめ（傍聴者）.....	23

はじめに

無作為に選ばれた私たち委員は、身近な問題を政治・行政任せにせず、住民自らが自分ごととして市の状況を知り、意見を出し合うことを目的にした「南陽市自分ごと化会議2025」に参加し、2025年10月から12月までの3回にわたって、『学んで得するゴミ問題』をテーマに南陽市におけるゴミ問題について話し合いを重ね、3つの提案にまとめました。

会議では、「南陽市のゴミの現状とゴミを減らしたらどうなるの話」について、資料を交え丁寧にご説明いただきました。その中で、私たちが住む南陽市のゴミ処理は、置賜3市5町で構成する置賜広域事務組合の各施設で処理が行われていること、一人1日当たりの排出量が全国平均より多く、置賜地域では最も多いこと、ゴミの処理にかかっているお金がいくらなのかなどを学び、また、ゴミの成分で一番多いのが生ゴミであり、消費期限切れで不要となる食材がいかに多く、それがフードロスにつながっていることに目を向けるきっかけにもなりました。会議資料で見た、指定資源ゴミ袋で分別回収されたプラスチック製包装容器が清掃センター内の過程で、職員の方が手作業でさらに一つ一つ分別して処理が行われている事実は衝撃的でした。第3回会議では、電気式生ゴミ処理機の実機を持ち込んでいただき、水分の多いゴミを各家庭でひと手間かけるだけで7割以上減らすことができ、その処理機の購入補助があることも知り、導入が進めばゴミ袋の購入も抑えられ、ゴミ削減の一助になると考えることができました。

最終的にはゴミを減らすことが地域を豊かにし、私たちの暮らしをよりよくすることだという結論に至り、ゴミ削減の必要性とその効果を理屈ではなく実感しました。

この度の会議を通じて、市民の私たち一人一人が、自分の考えを語り、幅広く議論することの重要性を感じましたので、行政の皆さんにはこのような身近な問題をテーマにした会議を継続して行っていくよう是非お願いします。

このような機会を提供していただきありがとうございました。これをスタートとして、無理なくできるゴミ削減に取り組んでいきたいと思えます。

2026年2月

南陽市自分ごと化会議委員 一同

1 「南陽市自分ごと化会議」の概要

(1) 名称

「南陽市自分ごと化会議」

(2) 委員の選出

住民基本台帳から無作為に抽出し、 委員参加の案内を送付した数	1000 名
応募（参加）した委員 （応募率）	18 名 (1.8%)

(3) 委員名（50音順）

(4) コーディネーター

石井 聡 （逗子市福祉部長）

(5) テーマ及び各回の議論

- ・テーマ：「学んで得するゴミ問題」
- ・各回の議論

(ア) 第1回会議：2025年10月18日（土）

- ・自分ごと化会議の概要説明
- ・テーマについての現状と課題の説明（市）
- ・委員の自己紹介 など

(イ) 第2回会議：2025年11月8日（土）

- ・第1回の会議の振り返りと具体的な改善策の検討
- ・改善提案シートの記入 ほか

(ウ) 第3回会議：2025年12月6日（土）

- ・これまでの議論を踏まえた行動の変化や気づきの共有
- ・最終的な方向性の確認
- ・改善提案シートの記入 ほか

※各回の議事録は南陽市 HP に掲載されております

2 「令和7年度南陽市自分ごと化会議」からの提案

以下の提案は、「学んで得するゴミ問題」というテーマに関して、私たち会議参加者が3回にわたって議論してきたことや「改善提案シート」の内容を中心にまとめたものです。

提案

1. 南陽市のごみの排出量を減らす環境をつくる

提案

2. ごみの分別の徹底化、リサイクル率向上を目指すための環境をつくる

提案

3. 食品ロスがないまちを目指す環境をつくる

1. 南陽市のごみの排出量を減らす環境をつくる

南陽市の令和5年度家庭系1人1日当たりのごみの排出量は515gであり、置賜地域3市5町の中でワースト1位です。山形県平均512g、全国平均475gと比較しても、南陽市のごみの排出量が多いことがわかりました。「知ることの重要性」がごみ問題を考える一歩になります。

「提案1」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち 市民

- ① 生ごみの水分を絞って量を少なくする。
- ② 家庭用生ごみ処理機を導入する（検討する）。
- ③ 生ごみとそれ以外のごみと分けておく。
- ④ 必要のないものは購入しない。
- ⑤ 使い切れる分だけ購入する。
- ⑥ 捨てる前に本当に不要なものなのか、別の使い道はないか考える。
- ⑦ ゴミ収集所に持っていく前に圧縮・減量に努める。
- ⑧ お下がり積極的に使う・あげる。
- ⑨ 行政発行書類はしっかり確認する。周りの人にも情報を広める。

地域

- ① いつでも捨てることのできるゴミステーションを確保する。
- ② ゴミ箱を設置する。
- ③ 家庭内での不要なものを回収し、バザーを開催する。
- ④ 定期的にゴミ拾いをする。
- ⑤ 地域間での声かけ
- ⑥ お祭りやマルシェ等でのイベントで発生したごみは種類ごとにまとめられるようにする。
- ⑦ 回覧板のバインダー本体に主な注意点を明記する。

行政

- ① 全市民のごみ問題への意識向上のための事業実施
- ② 南陽市のごみ処理の現状を住民に対して市報や SNS 等で周知する。(ベ
からず集にはならないよう留意する必要有)
- ③ 明確な目標設定及び公表。月次推移の公表
- ④ 地元企業と協働で仕組みを作る。(説明会の実施等)
- ⑤ 置賜地域で1番ごみの排出量が多いことの事実を伝える。
- ⑥ 動画を用いた周知。動画編集者は住民や学生から募り費用を抑える。
- ⑦ 玄関前にいつでも特殊ごみを入れられるコンテナを設置する。
- ⑧ ゴミ袋のサイズを小さくする。
- ⑨ 「ごみを考える日(仮称)」を制定することで、市民への意識付けをする。
- ⑩ 小中学生を対象としたコンクールを開催する。「ゴミを減らそう」等の抽
象的なものを避けるため、予め現状や課題、問題点等を提示する。

その他の 主体

- ① 過剰包装・過剰提供を避け、簡易的な梱包にする。
- ② 生ごみ処理機等の商品のメリット・デメリットの表示。利用者へのアン
ケートの実施・公表、利用者の口コミを促すための工夫

2. ごみの分別の徹底化、リサイクル率向上を目指すための環境をつくる

分別方法を理解している住民が少なく、分別すべきごみも可燃ごみとして捨てている現状があります。それに伴い、南陽市のリサイクル率は8.8%と、山形県平均13.4%、全国平均19.5%に比べて顕著に低い現状です。一人ひとりの小さな取組を積み重ねていくことが大切です。

「提案2」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち 市民

- ① ごみの種類を分けて置く。
- ② リサイクルできないか、一度よく考えてから捨てる。
- ③ 分別ガイドブックを確認する。インターネットで調べる。経験や学んだことを提供する
- ④ 未使用品はすぐに捨てない。
- ⑤ いらないものは、フリマアプリなどのリユースプラットフォームを活用する。
- ⑥ 汚れているものは洗って分別する。

地域

- ① 公民館で回収する等、地域が主体になって取り組む。
- ② 定期的にペットボトルキャップを集める企画を実施する。
- ③ 地域行事での周知

行政

- ① 住民の分別やリサイクルに関する意識向上施策の実施
- ② 子どもから高齢者まですべての世代が理解できるようなごみの分け方のポスターなどを一家に1枚渡す。
- ③ 過去の市報を回収してリサイクルする。
- ④ ごみの袋に絵や写真を印刷する。
- ⑤ 見やすい分かりやすい分別ガイドブックの作成。(曖昧な表現は使用しない)
- ⑥ アプリを活用するなど、ターゲットに応じて様々な手法を取り入れる。

⑦ ジャージ・制服バンクの開設

① 企業広告等で周知に協力してもらおう。

その他の ② 分別しやすい容器や包装にし、分かりやすい分別標記にする。

主体 ③ ゴミ処理業者は、分別しないことで起きる問題や困りごとを SNS を活用して発信する。

3. 食品ロスがないまちを目指すための環境をつくる

可燃ごみの約3割が食品系廃棄物ということを知りました。また、多くの家庭で、買いすぎて調理する前に傷んでしまったり、賞味期限や消費期限が切れてしまって捨ててしまったりすることが多々あることもわかりました。さらに地域特性として、おもてなし料理やいただき物等の廃棄処分が多いことから、フードロスをなくしていくことが非常に重要です。

「提案3」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち 市民

- ① 普段奥にしまいがちないただき物(普段使っていない調味料やレトルト食品)を常に目に付くところに置く。
- ② 食べきれる量・必要な分だけを購入する。
- ③ 食べられないものをフードドライブできるように早めに食品棚の整理をする。
- ④ 贈答者は相手の生活様式や人数を考えて贈答品を選定する。食べ物ではなくカタログギフトにするなど、食品ロスを発生させないよう考慮する。
- ⑤ 個人消費や来客対応において、過不足のない適切な量を調理する。過剰なおもてなしはしない。

地域

- ① 地域間で食品を融通する。
- ② 食品ロスをテーマにした料理教室を開催する。(普段野菜の捨てる部分を使用するなど)
- ③ こども食堂でのフード回収

行政

- ① フードドライブ用の回収BOXを設置する。
- ② 食品ロス問題を広く周知する。
- ③ 商店等の活性化につながるような取り組みをする。
- ④ どの種類の廃棄が多いのか、スーパー等での食品廃棄の現状を調査し、データを収集する。

⑤ 食品ロスになりにくい料理教室などを開催する。

⑥ 学校給食の量を減らす。

**その他の
主体**

① フードドライブ等のイベントを開催する。

② 必要な分だけ販売する。

③ カタログギフトの充実

3 付録：アンケート結果

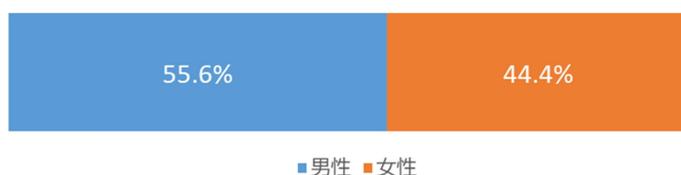
南陽市自分ごと化会議第1回参加者アンケート結果

令和7年10月18日実施分

参加者 10人 回答者 9人 ⇒ 回答率 90%

性別

	男性	女性	その他	合計
人数	5	4	0	9
割合	55.6%	44.4%	0.0%	100.0%



年齢

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
人数	2	0	1	1	1	4	0	0	9
割合	22.2%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%



1. 第1回の会議に参加してみても良かったか。

	とても良かった	良かった	どちらともいえない	良くなかった	まったく良くなかった	未回答	合計
人数	6	3	0	0	0	0	9
割合	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



2. 全体会議の時間は十分でしたか。

	長かった	ちょうどよかった	もっと話したかった	未回答	合計
人数	0	8	1	0	9
割合	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	100.0%



3. 対話において安心して話せる雰囲気でしたか。

	大変そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	未回答	合計
人数	7	2	0	0	0	9
割合	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



4 . 会議に参加しようと思った理由を教えてください。(自由記述)

- ゴミ問題に関心があった。
- 今までごみの分別に対してあまり気にしてこなかったので、理解と知識を深めようと思った。
- ゴミは身近な問題だから、できることがあればと思った。
- ごみに関してとても関心を持っていたし、こういう機会もなかなかないと思った。
- ごみに関しては全く知らず、学生のうちに知っておくと楽だと思ったから。また、3万人のうちの千人に選ばれたから、せっかくなので来てみようと思った。
- いただいた資料を見て興味があったため。
- このような会議に参加させていただけることは中々ないことなので、自分の経験として参加しようと思った。
- ゴミの分別を家庭で担当しているので、これから南陽市が住み良い市となるように。

5 . 次回以降の会議に向けての要望や今日の感想等がありましたらご記入ください。(自由記述)

- 知らなかったことなどを知ることが出来てよかった。
- 今日の話し合いで次回までに始められそうなことが多々あったので、これを機会にやってみようと思う。
- 冬季間の資源ごみの雪はきについてどうしているのか聞きたい。
- 次回以降も楽しみにしている。
- 穏やかな雰囲気だったのでとても安心して発言できた。
- 自分の知らないことが多かった。
- すごく有意義な時間だった。ごみについてたくさん学ぶことができた。一市民として、市のために沢山考えていきたい。
- 色んな年代の人がいて、様々な考え方があると知った。お年寄りで車もなく、あまり遠くにも行けない家庭の人の意見も聞きたい。

南陽市自分ごと化会議第2回参加者アンケート結果

令和7年11月8日実施分

回答結果

参加者 11人 回答者 11人 ⇒ 回答率100%

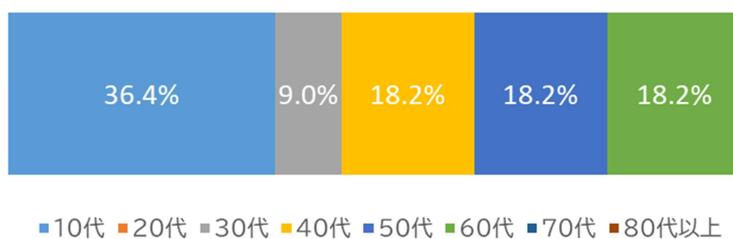
性別

	男性	女性	その他	合計
人数	8	3	0	11
割合	72.7%	27.3%	0.0%	100.0%



年齢

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
人数	4	0	1	2	2	2	0	0	11
割合	36.4%	0.0%	9.0%	18.2%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%	100.0%



1. 第2回の会議に参加してみても良かったか。

	とても良かった	良かった	どちらともいえない	良くなかった	まったく良くなかった	未回答	合計
人数	8	3	0	0	0	0	11
割合	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



- とても良かった
- どちらともいえない
- まったく良くなかった
- 良かった
- 良くなかった
- 未回答

2. 市職員の説明や質問に対する答えは分かりやすかったですか。

	とても分かりやすかった	分かりやすかった	どちらともいえない	分かりにくかった	とても分かりにくかった	合計
人数	8	3	0	0	0	11
割合	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



- とても分かりやすかった
- どちらともいえない
- とても分かりにくかった
- 分かりやすかった
- 分かりにくかった

3. コーディネーターの進行やまとめ方は分かりやすかったですか。

	とても分かりやすかった	分かりやすかった	どちらともいえない	分かりにくかった	とても分かりにくかった	合計
人数	8	3	0	0	0	11
割合	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



- とても分かりやすかった
- 分かりやすかった
- どちらともいえない
- 分かりにくかった
- とても分かりにくかった

4. 第2回会議で新たな発見や気づきがありましたか。(自由記述)

- 今回は互いが得するようなアイデアを出し合って、自分では思いつかないようなアイデアをたくさん聞くことができた。自分の知らないところについても気づくことができた。
- ごみについては、行政に頼っている面が大きいと分かった。ごみ袋の価格を把握していなかったなので、この価格で販売してすべて回収してもらえるのはすごいと思った。
- 個人個人様々な考えがありとても勉強になった。
- 「ごみ」という大きなくくりであっても、小さな分別がいっぱいあるので難しいと思った。民間の会社は儲からないなら、集める理由もなくなってしまうので時代とともに変化していくものに合わせる必要があるんだろうなと思った。
- 長井市で実施している生ごみの回収が良いと思った。
- 生ごみの影響が思った以上に大きかった。
- 日常的に改善できる点は多いと感じた。
- ごみを意識するようになった。
- 自分が考えていなかった部分等（ペットや子ども）のごみ問題が分かって良かった。
- フードロスに関して、他の参加者の皆さんの考えを聞くことが出来てよかった。

5 . 次回以降の会議に向けての要望や今日の感想等がありましたらご記入ください。(自由記述)

- 初参加だったが、とても良い会議だった。
- はじめは、改善提案シートを埋められる気がしなかったが、皆さんの意見を聞くうちに、ごみ問題には食品ロス、ごみ回収の仕組み、お金問題、様々な切り口があると分かった。家にあるごみにも、洗ったり、伸ばしたりすれば資源になるものがあると思うので、帰ったら見てみようと思う。
- 今回も色々なお話を聞いて学ぶことが出来てよかった。
- 前回参加できなかったため、今回新鮮な気持ちで取り組めた。日々のライフスタイルの改善でも、多少なりとも改善できるのかなと思った。知らない事も多かったため、改めてごみについて調べてみたい。
- 会議時間が長い。リモート会議を導入することで、参加が増えるのではないか。
- ごみを分別する、少なくすることは、急には難しいと思うから、日常的にやるようにしていかないと難しいと思う。
- フードドライブなど利用してみたいと思った。

南陽市自分ごと化会議第3回参加者アンケート結果

令和7年12月6日実施分

回答結果

参加者 11人 回答者 11人 ⇒ 回答率100%

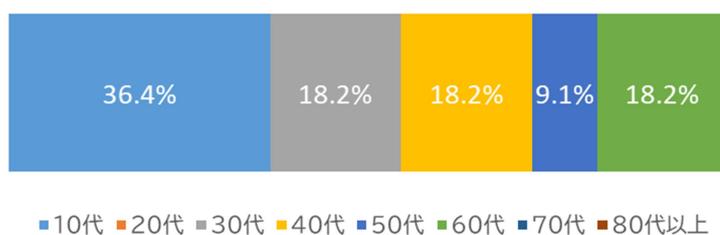
性別

	男性	女性	その他	合計
人数	8	3	0	11
割合	72.7%	27.3%	0.0%	100.0%



年齢

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
人数	4	0	2	2	1	2	0	0	11
割合	36.4%	0.0%	18.2%	18.2%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	100.0%



1. 第3回の会議に参加してみてもいかがでしたか。

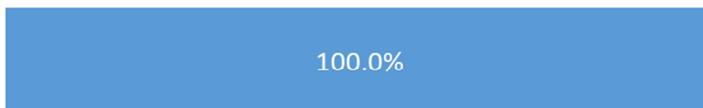
	とても良かった	良かった	どちらともいえない	良くなかった	まったく良くなかった	未回答	合計
人数	11	0	0	0	0	0	11
割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



- とても良かった
- 良かった
- どちらともいえない
- 良くなかった
- まったく良くなかった
- 未回答

2. 今回の南陽市自分ごと化会議全体を通じての満足度を教えてください。

	とても満足	まあまあ満足	やや不満	不満	どちらともいえない	未回答	合計
人数	11	0	0	0	0	0	11
割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



- とても満足
- まあまあ満足
- やや不満
- 不満
- どちらともいえない

(選択理由)

とても満足

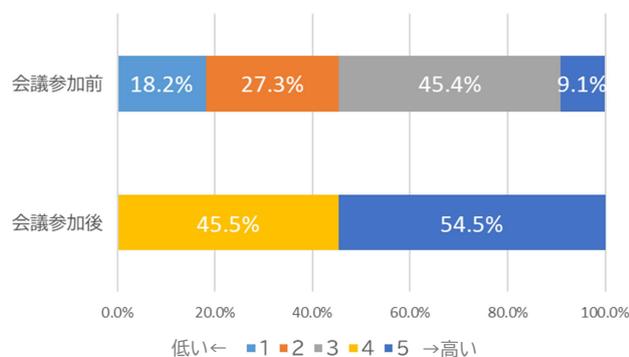
- ゴミについてとても学ぶことができた。
- とても充実して、普段はあまり話せない年代、生活の方と意見交換ができたから。
- “自分ごと化” ができたから。
- 自分にはなかった視点を得られたから。
- 様々な世代の方の考えが聞けて勉強になった。

- ごみは生活する上で必ず出るものだが、なかなか真剣に考える機会がなかったので良い機会となった。
- とても貴重な経験ができた。
- 自分が知らないことが分かって良かった。
- ゴミについて関心が持てた。
- たくさん勉強になった。

3. 南陽市自分ごと化会議に参加した前後で、あなたの税金や行政・議会への関心や地域づくりに関わり頻度などに変化はありましたか。

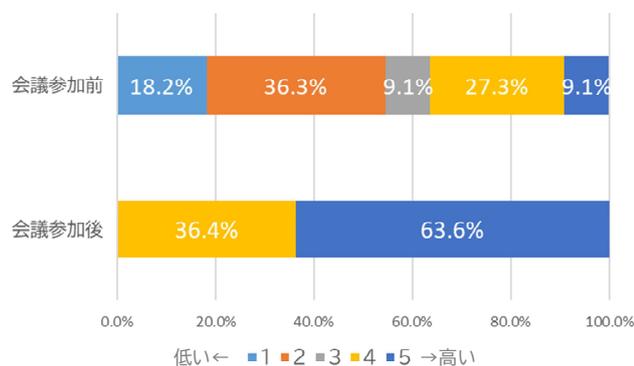
税金の使い方への関心

回答	会議参加前		会議参加後	
	人数	割合	人数	割合
1 低い	2	18.2%	0	0.0%
2	3	27.3%	0	0.0%
3	5	45.4%	0	0.0%
4	0	0.0%	5	45.5%
5 高い	1	9.1%	6	54.5%
合計	11	100.0%	11	100.0%



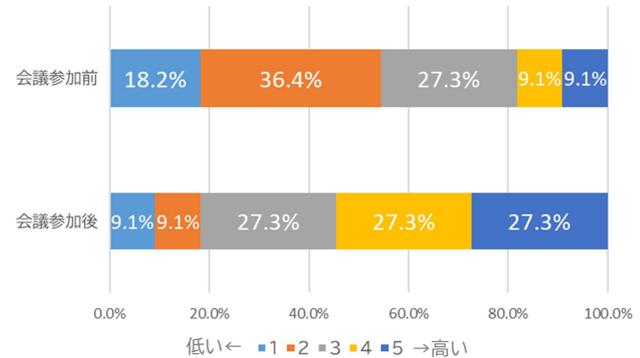
行政や議会の情報への関心度（広報誌・HP や議会の傍聴等）

回答	会議参加前		会議参加後	
	人数	割合	人数	割合
1 低い	2	18.2%	0	0.0%
2	4	36.3%	0	0.0%
3	1	9.1%	0	0.0%
4	3	27.3%	4	36.4%
5 高い	1	9.1%	7	63.6%
合計	11	100.0%	11	100.0%



自治会、ボランティア等地域づくりに関わる集まりに参加する頻度

回答	会議参加前		会議参加後	
	人数	割合	人数	割合
1 低い	2	18.2%	1	9.1%
2	4	36.4%	1	9.1%
3	3	27.3%	3	27.3%
4	1	9.1%	3	27.3%
5 高い	1	9.1%	3	27.3%
合計	11	100.0%	11	100.0%

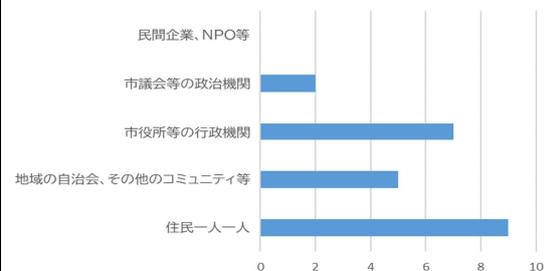


4 . 質問3以外に、自分ごと化会議に参加して意識や行動の変化があったことなどがあれば教えてください。(自由記述)

- 今まで全く知らなかったごみ問題なども、市民の皆さんと話し合えたことはとても楽しく勉強になった。
- 各年代の方々の考え等聞くことができた。年代で視点が違うと感じられた。
- ごみの分別を意識するようになった。
- なんでも燃えるごみに捨てていたが、洗ってプラスチックごみに捨て、分からないものは調べるようになった。
- ごみを出すときに資源ごみの出し方や可燃ごみの見極めなど意識することが増えた。
- 周りの人にゴミ分別や原料についてどうしたら伝わるか、自分でもお菓子の包装紙を洗ってプラごみに出してみたりするようになった。

5 . 南陽市をより良くするために特に重要と思う主体をお答えください。(複数選択可)

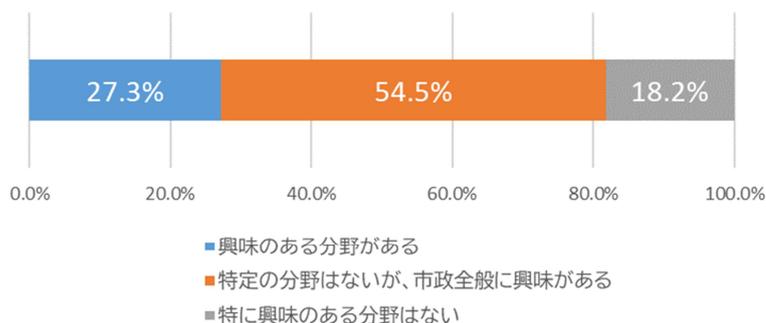
選択肢	住民一人一人	地域の自治会、その他のコミュニティ等	市役所等の行政機関	市議会等の政治機関	民間企業、NPO等
人数	9	5	7	2	0



6 . 現在、市の取組やまちづくりに関する活動など興味のある分野はありますか。

回答	興味のある分野がある	特定の分野はないが、市政全般に興味がある	特に興味のある分野はない	合計
人数	3	6	2	11
割合	27.3%	54.5%	18.2%	100.0%

「興味のある分野がある」を選択した方の具体例



- 福祉
- 森林再生
- 関係人口創出

7 . 今後、南陽市自分ごと化会議のように、住民同士でまちの重要課題について議論・意見交換し、まちへ改善提案できる場があれば参加したいと思いますか。

回答	思う	思わない	どちらとも言えない	合計
人数	11	0	0	11
割合	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%



8 . 自分ごと化会議に参加したことで知識が深まった、勉強になったと思いますか。

回答	思う	思わない	どちらとも言えない	合計
人数	11	0	0	11
割合	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%



9 . その他、全体を通じた感想やコメントを自由にご記入ください。

- 石井さんの進行のやり方がとても上手い。
- すべて参加することができなかったが、他の住民の方の考えを聞くというなかなかない機会をいただき感謝している。
- このような会に参加できてとても勉強になった。似たような機会があればぜひ参加したい。
- 行政や市民について探究する機会は今までもあったが、より深く学ぶことができたためとても興味深かった。
- はじめは緊張したが、ごみ問題を様々な角度から様々な人と考えてとても良い経験になった。次のこのような機会があればぜひ参加したい。
- 今回の話でゴミについて詳しく学ぶことができた。南陽市の現状を知った上で今後何をしていくべきなのか、自分には何ができるのか考えることができてとても良かった。今回のことを生かして周りの人に広めたいと思う。

南陽市自分ごと化会議アンケート結果まとめ（傍聴者）

回答結果

回答者 1人

性別

	男性	女性	その他	未回答	合計
人数	0	1	0	0	1
割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

年齢

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答	合計
人数	0	0	0	0	1	0	0	0	1
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

職業

	会社員	自営業	公務員	議員	主婦（夫）	学生	無職	その他	未回答	合計
人数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

お住まい

	南陽市	その他	未回答	合計
人数	1	0	0	1
割合	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

傍聴回数

	1回目	2回目	3回目	4回目	合計
人数	0	1	0	0	1
割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1. 南陽市自分ごと化会議を何で知りましたか。

	市の各種 SNS	市報 なんよう	知人から	構想日本の 情報提供	その他	合計
人数	0	0	0	0	1	1
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%

※その他（子どもが参加者になっている）

2. 住民同士が話し合う「南陽市自分ごと化会議」について、どう思われましたか。

	とても良 かった	まあまあ 良かった	あまり良 くなかつ た	まったく 良くなか った	どちらと もいえな い	未回答	合計
人数	1	0	0	0	0	0	1
割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

【理由】

（とても良かった）

- 知らなかったことを学べた。とても勉強になった。子どもともいろいろ話し合いたいと思う。
- 様々な視点の考え方を聞くことができてよかった。皆さんの話を聞きながら「自分ごと化」している、そうになっていく過程を見たと感じた。市民全体に広がったらすごいこと。市民の生の声が聞けることは有難いことだと実感した。

3. その他、ご意見等ありましたらご記入ください。

- 自分もごみ減量しなければと強く感じた。自分でできることを心がけてやっていきたいと思う。傍聴者としての参加だったが、委員の方々が自分ごと化する姿を見ることができ、自分も考えることで自分ごと化できたことが良かった。